その他資料①

「健康格差」の解決プログラム促進事業（特定健診）

＊令和元年度モデル実施

歯科医療機関と連携した特定健診等の受診勧奨プログラムの開発

問合せ先：大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課
総務・歯科・栄養G　　毛利
（電話）06-6944-6694

趣旨・目的

- 平成30年度より、特定健診の「標準的な質問票」に歯科に関する項目が追加され、特定健診・特定保健指導において歯と口の健康の重要性が高まっている。
- 口腔の健康状態と生活習慣・基礎疾患は密接に関連（※）しており、特定健診をはじめとする健診・検診について、実際に体の一部（口腔）を診た歯科専門職からの受診勧奨、府民啓発は説得力が強い。

※ 食習慣や喫煙等の影響は口腔内に現れやすく、また咀嚼能力の低下は食生活の乱れにつながりやすい。

※ 現在歯数が19歯以下の者は、20歯以上の者と比較して、糖尿病、脳卒中、がん、高血圧症、脂質異常症の発症率が高い。（出典：深井獲博ほか.日本歯科医学会雑誌.2018）

⇒ **歯科専門職からの特定健診等の受診勧奨、健康情報の発信・啓発をより効果的に行うためのプログラムを開発する。**

事業スキーム

大阪府歯科医師会

- 歯科専門職による府民啓発のためのプログラム作成
- 啓発媒体（ちらし・ポスター等）作成

連携

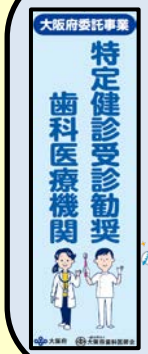
府・市町村

説明会実施
啓発媒体提供

アンケート回答
事例報告

情報提供

協力歯科診療所（※ プレート掲示により、協力歯科診療所であることを明示）



- 院内に啓発ポスターを掲示、啓発ちらし配架
  （ポスターは大阪府歯科医師会全会員へ配布：5,531部）
- 問診、診療後の説明等の機会を活用し、啓発・動機づけ

（特定健診等のけんしん未受診者に対して）

- 啓発ちらし等を渡し、情報提供・受診勧奨
- 再診時に、患者の意向・健診受診状況を再確認

結果

■ **主な取組内容**

○ 受診勧奨プログラムを展開（11月～2月，4地区：大阪市東、茨木市、東大阪市西、岸和田市の地区歯科医師会）

○ 協力歯科診療所で啓発ちらし配架（計 2万部）

○ 患者アンケートにより、特定健診の認知度、受診状況、啓発後の意識、受診行動等を検証（計 71診療所で調査）

■ **事業成果**（患者アンケート結果より）

○ 歯科受診患者の特定健診受診状況（回答数：414名）

特定健診を知らない：　40.8%

受診したことがない：　64.6%

今年度未受診：　83.3%

⇒ 受診勧奨の結果、未受診者の **54.1% が受診の意向**

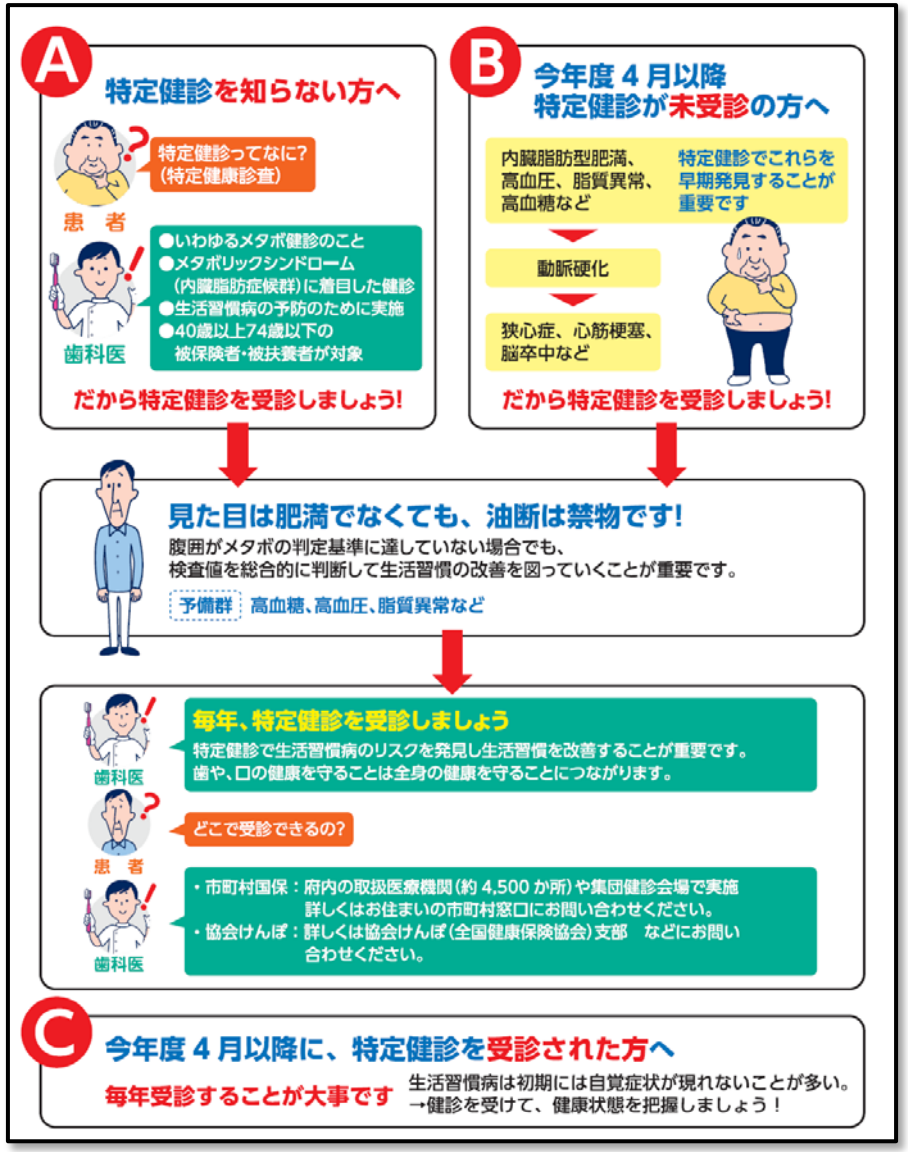
○ 再診時の追跡調査結果（回答数：119名）

⇒ **13名（10.9%）が受診**（うち10名は過去の受診経験なし）

「健康格差」の解決プログラム促進事業（特定健診）

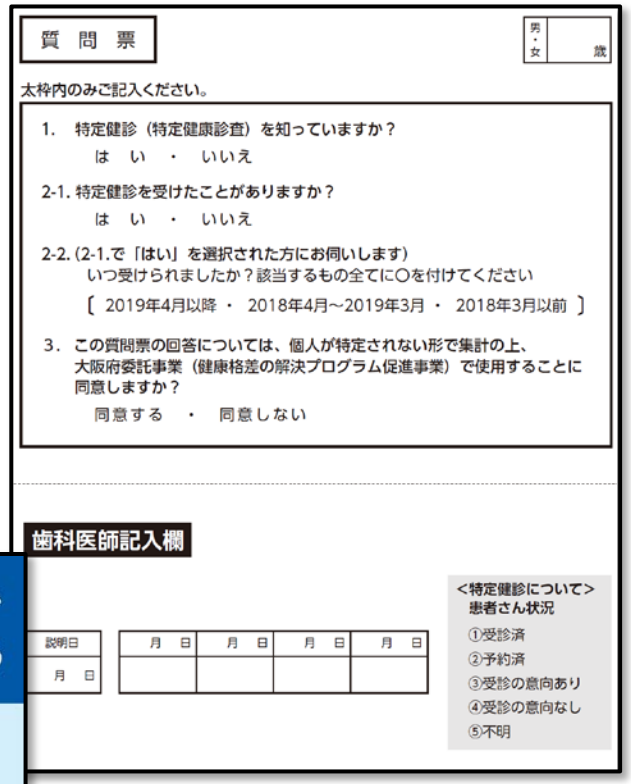
受診勧奨プログラム

特定健診の認知度、受診状況に応じて受診勧奨



患者アンケート

受診状況、受診に対する意識等を把握



質 問 票

男・女 歳

太枠内のみご記入ください。

1. 特定健診（特定健康診査）を知っていますか？
   は い ・ いいえ

2-1. 特定健診を受けたことがありますか？
   は い ・ いいえ

2-2. (2-1.で「はい」を選択された方にお伺いします)
   いつ受けられましたか？該当するもの全てに○を付けてください
   〔 2019年4月以降 ・ 2018年4月～2019年3月 ・ 2018年3月以前 〕

3. この質問票の回答については、個人が特定されない形で集計の上、
   大阪府委託事業（健康格差の解決プログラム促進事業）で使用することに
   同意しますか？
   同意する ・ 同意しない

歯科医師記入欄

説明日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
月 日					

<特定健診について>
患者さん状況
①受診済
②予約済
③受診の意向あり
④受診の意向なし
⑤不明

啓発ポスター

歯科診療所に掲示